



概要

帯広市は、十勝平野の中央に位置する中核都市であるが、広大な農村部を有し、マイカーへの依存度が極めて高く、路線バス等の公共交通の利用が少ないことが課題となっている。このため、過度なマイカー依存からの脱却、利便性の高い公共交通の確保を目指し、バスの路線見直しや乗合タクシーとの連携による利便性向上、商店街との連携、廃油の回収・BDF化の展開、子ども無料デーの実施による利用促進等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR根室本線(帯広駅、柏林台駅、西帯広駅)
- ・十勝バス(株)、北海道拓殖バス(株)(市内外路線)
- ・大正交通(有)(大正・川西地区「あいのりタクシー」)
- ・帯広空港

地域公共交通の課題

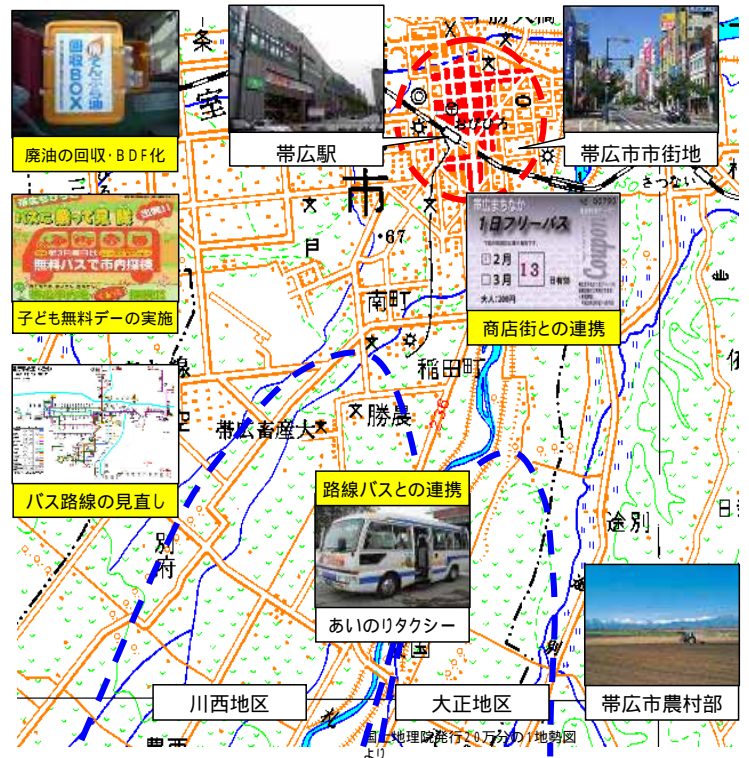
- ・マイカー依存度が極めて高い
- ・路線バスの利用が低迷

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・過度なマイカー依存からの脱却の方策の検討
- ・公共交通の利便性確保の方策の検討

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・バス路線の見直し
- ・路線バスと乗合タクシーの連携の検討
- ・商店街との連携、廃油の回収・BDF化の展開、子ども無料デーの実施等による利用促進の検討



帯広市地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

3回開催

分科会等開催状況

-

現況交通実態調査

・北海道が平成17年度に実施したパーソナルトリップ調査などを参考に、現況実態調査を実施。

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

過度なマイカー依存からの脱却の方策の検討

公共交通の利便性確保の方策の検討

・バス利用者を対象にしたアンケートを実施。(H20.11月)

上記アンケートで特に要望が多かった社会教育施設へのアクセス向上の具体的検討のため、施設利用者アンケートを実施。

新設予定路線2系統について、運行方策等の具体的検討に向け、今後、地域住民へのアンケートを実施予定。

予定している連携計画の内容

路線見直しによる適切なバスネットワークの形成(実施主体:帯広市・交通事業者、実施時期:H21~)

・柏林台~稲田地区の南北路線、西帯広地区の循環路線の実証運行の実施。

・教育施設へのアクセス向上等のための既存バス路線のダイヤ及び便数の適正化を実施。

路線バスの利用促進(実施主体:帯広市、交通事業者ほか、実施時期:H21~)

・バスマップ・時刻表の検討、エリア定期券等新たな定期券・回数券の検討、小学生や高齢者への公共交通教育プログラムの実施。

廃油の回収を通じた環境配慮意識の向上(実施主体:帯広市、交通事業者、BDF製造事業者ほか、実施時期:H21~)

・市民からの廃油回収を通じ環境配慮意識の向上を図り、これを活用したBDFで路線バスを運行することにより市民利用を促進。

自己評価のポイント

既存調査結果の活用やアンケート調査等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において合意形成を図っている。

二次評価のポイント

自己評価のとおり。